

# 若い力キラリ “日本一”

熊本高専八代キャンパス（八代市）の学生チームが、10月に福井県で開催された全国高専プログラミングコンテストの課題部門で最優秀賞に輝いた。受賞したのは、将棋を題材にした対戦型のウェブアプリ「転生将棋 新感覚中盤トレーニング」。自動生成された中盤の局面からスタートし、オンラインで対戦する斬新なアイデアと完成度が評価された。

大会は、一般社団法人全国高等専門学校連合会主催で34回目。チームは、八代キャンパスの部活動「情報システム研究部」に所属する5年の宮本健太郎さん、3年の稲富将大さん、2年の辻中煌希さん、1年の岩谷奏慈郎さん、栗林雄太さんの5人。将棋好きの宮本さんが発案し、プログラミングを担当。大会用の資料やマニュアル作成、アプリのポイントとなる中盤の局面の選定、大会時の説明などをメンバーで分担した。

アプリは、人工知能（AI）の選定、大会時の説明などをメンバーで分担した。同士の対局から自動生成させた、ほぼ互角の状況で次の一手の候補が多い20〜50手目の局面からスタート。オンラインでマッチングした相手と対戦できるほか、対局せずにほかのユーザーの試合を観戦できる。プログラムのソースコードは2万行にも及ぶという。

## プログラミング「斬新」 将棋アプリ開発 技術力に高評価



全国高専プログラミングコンテストの課題部門で最優秀賞に輝いた熊本高専八代キャンパスの学生ら＝2日、八代市



熊本高専八代キャンパスの学生が開発した将棋アプリ。中盤の局面から始まるのが特徴



ウェブアプリ「転生将棋 新感覚中盤トレーニング」はこちらから。公開は2024年3月まで。